

会長時評

避難指示解除から5年目 帰島者増やす対策を

帰島5周年を迎えた三宅島。「平成22年三宅村功労者表彰式」ののちには受賞者等が伊ヶ谷の大林寺で「希望の鐘」を打ち鳴らした。しかし、未だに島民の3割が戻らない状況もあり、再生・復興はまだ道半ばの状況だ。

「希望の鐘」を打つ佐藤就之会長



問われる村長の手腕
2月1日、帰島5周年を迎えた三宅島。前日までの温かい晴天が一転して寒風豪雨で荒れた。そんな中「平成22年三宅村功労者表彰式」が役場会

議室で行われ、平野村長から15人に表彰状が贈られた。その後、伊ヶ谷の大林寺で「希望の鐘を打ち鳴らす会」(発起人代表・仁平喜長氏)が「帰島宣言」を記念し希望の鐘を打ち鳴らそう!と

三宅島新報

隔月発行

発行所：三宅島ふるさと
再生ネットワーク
(本部) 〒100-1101
東京都三宅島三宅村神着 320-2
Tel. 090-4922-0798
発行人：会長 佐藤就之

事務局便り

○第18回世話人会
3月13日(土)18:30～
場所：喫茶ルノアール会議
室(巣鴨駅前店)
皆さまのご参加をお待ち
しております。

○お願い
お引越し等、住所・電話番号が変わられた方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。

○祝・向上高校新聞委員会
第39回全国高校新聞コンクールで、向上高校新聞委員会が最高賞の「文部科学大臣奨励賞」を受賞。おめでとうございます!

事務局：あすなろ保育園内
郵便番号：173-0005
住所：板橋区仲宿 25-6
電話・FAX 03(3963)5697
担当 横山

呼びかけ、伊ヶ谷郷土芸能保存会の獅子舞も披露する中、島民も参加し鐘を打ち鳴らした。
この様子は、TOKYOMX、NHKTV(4日)で放映。MXでは、島民の声として「隣近所がいなくなり寂しいが、そのような方が戻ってくるのが第一」と紹介。「もともと住んでいた島民を呼び戻せるか村長の手腕が注目される」と記者は指摘した。しかし残念ながら村長からは、観光誘致の話はあったが、肝心の在京島民の帰島促進策を聞くことはできなかった。
NHKでも、当ふさとネットの在京者訪問活動などが紹介された。また、読売、朝日新聞にも取材を受け、「三宅島民

不十分な課題の掘り下げ
前号でも強調をしてきたが、今年と来年の2年間は今後の島の浮き沈みや、将来を決する重大な節目の年となるように思えてならない。
特に、今年は噴火10年と、帰島5年の期間を被災者としての立場から、島の再生・復興のために率直に問題点、課題を提

起する役割を担っている。これほどの長期にわたる自然災害・噴火災害は、日本だけでなく、世界的にも類を見ないとされている。従って私たちの経験は行政機関を含めて貴重なものであり、今後に生かしていかなければならない。
残念ながら現状では、そこまで至っていない。東京都と三宅村では、それなりに早々と報告書(誌)・専門家任せのレポートが出されている。しかし、阪神淡路大震災、北海道有珠山噴火、新潟地方などと比較して、被災地と被災者の課題の掘り下げが不十分であると感じている者は私だけではない。
このため、今後、皆さんのご協力を仰ぎたい。

ネット
新年会

支援継続の絆を確認

30人が参加 三宅島の料理で楽しい時間



協力者の踊りが加わる中、佐藤会長が「望郷の詩」を熱唱

帰島5周年を記念して、2月6日にふるさとネットの新年会が行われた。同会には、ネットのメンバーのほか、在京島民や協力者やマスコミ関係者が多く参加。楽しい時間を過ごすとともに、今後も島の未来のために協力していくことを確認した。

会長「節目の年」と挨拶

2月6日の18時から、青物横丁の「ビストロおきみくら」でふるさとネットの帰島5周年記念新年会が行われた。

第1部は、DTPAが作成した、三宅島の噴火から今日までの足跡をま

とめたスライドショーの上映から始まった。噴火してから島の状況や島民の方々の様子、ボランティアなどによる支援活動の様子などを、写真で振り返った。

それに続き、佐藤会長が「今年は節目の年」とまず挨拶。続いて千川剛

余興など賑やかに

史大妻女子大学教授、文化放送防災キャスターの高橋民夫さん、向上高校の山田貴久教諭、民主党の池田剛久さんが挨拶に立った。その後伊藤奈穂子前事務局長の音頭で乾杯し、島でペンションを経営していたマスター自慢の料理を楽しんだ。

第2部では、ふるさとネットのメンバーによる踊りや手品、在京島民の方による民謡、向上高校の先生方が結成した「向

上ボーイズ」によるギター演奏と歌が披露され、場を盛り上げた。また、この日参加した読売新聞やNHK、神奈川新聞の記者の方からの挨拶も、「今後も三宅島の災害を伝えていく」と挨拶をした。

さらに、佐藤会長による五木ひろしの「望郷の詩」の熱唱で踊りがあり、この日誕生日を迎えた酒井副会長の一本締めで閉会した。

都内の保育園に通うお子さんとともに参加した

お母さんは、「災害に備えるための輪を広げる機会になったと思います」と話した。

【主な参加者】

- ・大妻大学教授 千川剛史さん
- ・文化放送 高橋民夫さん
- ・民主党松原仁衆議院議員秘書 池田剛久さん
- ・読売新聞 山崎純之助さん
- ・NHK首都圏放送センター 中村雄一郎さん
- ・神奈川新聞 藤塚正人さん
- ・佐藤就之会長
- ・酒井一豊副会長
- ・など、在京者、三宅出身者と協力者の30人が参加。

文化放送 高橋民夫さん

「顔を合わすのが大切」

2月6日の夕方に行われた三宅島ふるさと再生ネットワーク主催の帰島5周年新年会では、ふるさと島民や私たちが新聞・テレビ・ラジオの記者等合わせて30人余りが参

加し、会場は大盛り上がり。スピーチを求められた私は、1970年の文化放送入社時から番組企画で三宅島を訪れて以来、自然の美しさに魅せられ、噴火の取材を含め40回以上も通っていることを報告。三宅島のことは決して忘れません



報道関係者とともに挨拶する高橋さん(右)

40回以上通った三宅島「決して忘れません」

と挨拶しました。多くの人々に支えられて、島民の皆さん頑張つて！

「人と未来防災センター」で震災の展示を見て、地震の怖さを実感した。

町並みはとてもきれいになっていて、本当にここ地震があつたのか

ふるさとネットおよびDTPAが続けている在京島民の訪問活動。ほぼ落ち着いた生活をしている方が多いが、高齢化が進むにつれ、今後も支援の手が必要なことがうかがえる状況もあるようだ。

◎在京者支援金制度延長のお知らせ

ふるさとネットは、昨年12月14日付で「帰島に係る各支援制度の打ち切り期限の延長に関する要望書」を東京都石原知事と鳩山総理大臣に提出（ふるさとだよりNO14参照）。都は条例から要綱にして支給（右の表参照）。国も被災者再建支援法人（財団）が継続を決めたとの回答がありました。

◎お便り（要約）

新年会に御誘い頂きありがとうございます。用事で出かけるので参加できず申し訳ありません。二人とも元気しております。皆さまによりしくお伝えください。（在京者・北区K様）

◎ご寄付者名

中村徹様、吉野文雄様、鶴吉様、吉田信行様、井上教子様、笹井美奈子様、匿名希望様、伊藤奈穂子様、佐藤宗ノ子様（12月16日～2月15日）

ありがとうございました。ご寄付のご問い合わせは事務局までお願いします。

全島避難指示解除から帰島5周年を迎え、また、今年訪問した方から「また、一緒に話をしましょう」という声をかけていただいた。要望が聞かれた。に送ってほしい」などの要望が聞かれた。また、今年訪問した方から「また、一緒に話をしましょう」という声をかけていただいた。

編集後記

・東京都三宅島災害被災者帰島生活再建支援金支給 1,130件、12億676万3千円（予算額は27億2,300万円）。21年度は11月1日現在。支援支給金とは、帰島に対して経済的等の自立困難な者に対して住宅の修繕等に150万円を上限に支給する都の制度。2010年度も継続する予定である。予算執行率は約46%となっている。

・16～21年までの帰島世帯と人口は 1,274世帯、帰島人口 2,141人

・当ネット調べによる。都の担当部局は福祉保健局、三宅支庁。

高齢化でますます重要に 訪問活動 東京と神奈川で継続中



在京者が住む都営住宅

ふれあいコールの充実も
ふるさとネット事務局は、北区の在京島民宅を8軒訪問した。
「元気でやつております、いつもありがとうございます」という声も聞こえたが、高齢や冬の寒さもありなかなか外出もできない

様子であった。「外出するといったら病院へ行くくらいですね」と話をする方もいらつしやうた。「1月終わってから雪や雨が続き、朝夜になると道が凍結してしまい、歩くのがおっかない。バスに乗って出かけても、帰る時間になるとバス停の周りが凍つてしまふ」とのお話があった。訪問のほかにもふれあいコールとして、品川区在住の方に電話にてお話を伺った。やはり体調面での不安が大きく、「今日は整形外科、明日は心臓内科に行きます」と

話されていた。引き続き定期的に訪問活動を行うとともに、訪問先を増やし、ふれあいコールの充実に努めていきたい。

次は一緒に買い物
町田市や稲城市のほか神奈川県内を担当しているDTPAでは、1月24日と31日に、計3軒の在京者宅を訪問した。今回、初めての訪問となった町田市の都営住宅に住む高齢者の方からは、「近所にはスーパーや病院などもなく、バス停も遠いので不便」という話があった。次の訪問では一緒に買い物に行く予定だ。また、複数回訪問しているお宅でも「島の役場の発行物を島ではなく、現在住んでいる家

都の生活再建支援金支給と帰島状況

年度	件数	支給額（円）	予算額（円）	帰島世帯	帰島人口
04	18	1756万	6億	792	1375
05	819	9億1108万6千	13億5千万	457	720
06	223	2億2293万6千	6億9千400万	10	27
07	51	4052万9千	4千900万	5	6
08	18	1447万4千	1千500万	10	13
09	1	17万8千	1千500万	0	0